

令和 3 年第 8 回

普代村議会臨時会会議録

普代村議会

令和3年第8回普代村議会臨時会会議録			
招集告示年月日	令和3年11月22日		
招集の場所	普代村議会議場		
開閉会日時及び 宣 告	開 会	令和3年11月26日15時00分	
		議 長	中 村 裕
	閉 会	令和3年11月26日17時20分	
		議 長	中 村 裕
応（不応）招議員及び 出席並びに欠席議員 出 席 9人 欠 席 0人 凡例 ○ 出席 ▲ 欠席 × 不応招 ○▲ 公務欠席	議席番号	氏 名	出席等の別
	1	嗟 峨 典 行	○
	2	金 子 泰 男	○
	3	大 上 浩 史	○
	4	大 上 智	○（途中出席）
	5	古 沼 和 也	○
	6	中 上 一 登	○
	7	森 田 幸 一	○
	8	—	
	9	正 路 正 敏	○
	10	中 村 裕	○
会議録署名議員	5	古 沼 和 也	
	6	中 上 一 登	
職務のため議場に出席 した者の職・氏名	事務局長 書 記	松 葉 義 人 新 屋 一 郎	

<p>地方自治法第 121 条に より説明のため出席 した者の職・氏名</p>	<p>村 長 副 村 長 教 育 長 総 務 課 長 政策推進室長 税務出納課長兼 会 計 管 理 者 住民福祉課長兼 保健センター所長兼 包括支援センター所長 建設水産課長 治水対策室長 農林商工課長兼 休養施設管理員 医 科 ・ 歯 科 診 療 所 事 務 長 教 育 次 長</p>	<p>柁 屋 伸 夫 竹 花 強 志 三 船 雄 三 川 向 正 人 森 田 安 彦 山 田 晃 人 道 下 勝 弘 大 村 修 太 田 吉 信 山 崎 長 蔵 坂 下 広 見 菅 野 伸 二</p>
<p>議 事 日 程 会議に付した事件 会 議 の 経 過</p>	<p>別紙のとおり 別紙のとおり 別紙のとおり</p>	

開 会 (15:00)	議 長	<p>令和3年11月26日(火)第8回普代村議会臨時会 ただ今から、令和3年第8回普代村議会臨時会を開会いたします。 ただ今の出席議員は、8名であります。定足数に達しておりますので、 会議は成立いたしました。</p> <p>なお、4番大上智議員より欠席の通告がございます。 直ちに本日の会議を開きます。</p> <p>本日の日程は、お手元に配布いたしました議事日程(第1号)によっ て進めてまいります。</p>
会議録署名議 員の指名		<p>日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。 5番古沼和也議員、6番中上一登議員の両議員を会議規則第120条の規 定により指名いたします。</p>
会期の決定		<p>日程第2「会期の決定」を議題といたします。 先刻開催されました議会運営委員会の結果報告では、本日1日でござ いいますが、お諮りいたします。 今期臨時会の会期を議会運営委員長長の報告のとおり、本日1日と決す ることにご異議ございませんか。</p>
諸般の報告	議 長	<p>(異議なし) ご異議なしと認めます。 よって会期は、本日、1日と決定いたしました。</p>
	松葉事務局 長	<p>日程第3「諸般の報告」を行います。 報告書を事務局長に朗読させます。 松葉事務局長。 ご説明させていただきます。</p>
	議 長	<p>(以下、事務局長報告、記載省略) 次に、広域関係等の報告がありましたら、お願いいたします。</p>
	森田議員	<p>7番森田幸一議員。 7番森田でございます。私からは久慈広域連合議会の報告をいたしま す。</p>
	議 長	<p>(以下、森田議員報告、記載省略) ありがとうございます。</p>
	正路議員	<p>4番大上智議員の出席がございましたので、報告いたします。 ほかに、ございませんか。 9番正路正敏議員。 私の方からは岩手県沿岸知的障害児施設組合議会について、ご報告申 し上げます。</p>
	議 長	<p>(以下、正路議員報告、記載省略) 以上で、「諸般の報告」を終わります。</p>
林道堤線災害 復旧(1号) 工事の変更請		<p>日程第4報告第1号「林道堤線災害復旧(1号)工事の変更請負契約に 関する専決処分報告について」を議題といたします。 当局の報告を求めます。</p>

<p>負契約に関する専決処分の報告について</p>	<p>大村建設水産課長 議長</p>	<p>大村建設水産課長。 それでは、報告第1号につきましてご説明いたします。 (以下、建設水産課長報告、記載省略) ただ今の報告に対しご質問がございますか。 3番大上浩史議員。</p>
	<p>大上浩史議員</p>	<p>3番大上です。今課長の説明内容を聞くというと、大まかにこうこうしかじかという大まかな内容は説明があった訳ですが、だがしかし、具体的にこうこうしかじかによってこういうふうに変更せざるを得なかったという変更理由が全然説明がなされていない。今に関わらずそういったことだと思うんですけども、やはり変更理由に関わる内容が、われわれが納得する説明内容だと思うんですが、説明がなされていない。ただ変更理由がこうこう、理由がという大ざっぱな理由は確かに言ったけども、なぜにそれが変更しなければならないかという具体論については何ら説明がない訳です。だからもう少しやっぱり変更理由ということについてのやっぱり説明がなされなければならないと思うんですが、いかがなもんなんでしょうか。</p>
	<p>議長 大村建設水産課長</p>	<p>大村建設水産課長。 変更の内容につきまして先ほど大型土のうの減額という簡単に説明をした訳でございますが、内容につきましては当初、大型土のうで被災箇所を防いで川をいったん違う方に切り回して護岸等施工する予定の箇所でもございましたが、川幅が狭くて大型土のうを設置すると作業スペースもなくなり、川の幅も狭くなりすぎてちょっと作業が難しいということで現地の川の土砂を寄せて土のう代わりにすることで施工しましたので、大型土のうの計上が必要なくなったという内容でございます。</p>
	<p>議長 大上浩史議員</p>	<p>3番大上浩史議員。 分かんない、分かったような気がしますけれども、ただ当初からそういう予定というか、設計というか、見積もりというか、ことを予定して設計を作った訳ですが、たまたまそういう事情が急遽なされたからそういうふうな変更をせざるを得なかったという途中経過の問題でそういう変更にならざるを得なかったということであるのか。もともとそれを設計見積もりをするにあたってそういう設計見積もりをしたものに対して、途中でそういうふうなことができなかったというやっぱりほかの問題も次の問題でもある訳ですが、そういったやっぱり細やかなことの設計ミスというか予算ミスというか、われわれにはよく分かんない訳ですが、そこらについてはどういうふうな感触を得て設計・工事ミスになる訳なんですか。</p>
	<p>議長 大村建設水産課長</p>	<p>大村建設水産課長。 設計ミスというものではなくてですね、設計上はスペースは若干はあるんですが、作業をするのにしづらいということで作業スペースを十分取るために今回大型土のうを設置しないで土砂を寄せて壁を作ってやる</p>

<p>一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について</p>	<p>議長 大上浩史議員</p>	<p>という形に業者さんの方で施工しやすいように変更したいという申し出があって、その内容を現地で担当職員等と確認してそういった方向で変更したということで設計の段階で大型土のうを設置できるという設計でやったもので、作業効率を考えて業者さんの方はそちらの方向でやりたいというかたちの施工方針がありましたので、それで変更したということでございます。</p> <p>3番大上議員。</p> <p>3回目でこれで終わりますが、ということになれば施工業者が施工するにあたってこういう施工なんだけども、それこそ施工業者がこういうふうにやれば150万円でも100万円でもそれこそ予算を詰めて完成できるんだということの説明だ訳ですが、私はそういう実際のことがあっても、いやいやこれは設計・見積もりの段階でやはりそういうことが事前に本来は分かってそういう設計見積もりをしなければならなかったんじゃないのかなと、逆な意味で私そう思うんですが、そういうことはやっぱり私の考えは間違いなんですか。</p>
	<p>議長 大村建設水産課長</p>	<p>大村建設水産課長。</p> <p>設計の内容が最初からそうできたんじゃないかということかと思いますが、その施工にあたっての詳細な部分については全て設計の段階で確認できない部分はどうしてもございます。それによって設計変更というのは出てくるものと思っております。ですので、設計に対して施工する前は全て施工業者と工程の打ち合わせ、現地での位置の確認等全て行って設計通り可能かどうかそこを施工、着手段階で検討していくという作業が出てきますので、どうしても設計のコンサルから上がってきた設計のものでは確認できない部分もどうしても出てきます。</p>
	<p>議長</p>	<p>ほかに、ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
	<p>議長</p>	<p>なければ、以上で報告を終わります。</p> <p>次に、日程第5議案第2号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について」を議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>川向総務課長。</p>
	<p>川向総務課長</p>	<p>それでは、議案第2号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について」ご説明いたします。</p> <p>(以下、総務課長説明、記載省略)</p>
	<p>議長</p>	<p>提案理由の説明が終わりました。</p> <p>これより、質疑を許します。</p> <p>ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
	<p>議長</p>	<p>なければ質疑を終結いたします。</p> <p>直ちに採決を行います。お諮りいたします。</p>

令和3年度普代村一般会計補正予算(第6号)	議長	<p>議案第2号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について」は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は、原案のとおり可決されました。</p> <p>日程第6議案第1号「令和3年度普代村一般会計補正予算(第6号)」を議題といたします。</p> <p>当局の説明を求めます。</p> <p>川向総務課長。</p>
	川向総務課長	<p>それでは、上程されました議案第1号について、ご説明いたします。</p> <p>(以下、総務課長説明、記載省略)</p>
	議長	<p>提案理由の説明が終わりました。</p> <p>これより、質疑を許します。</p> <p>1番嵯峨典行議員。</p>
	嵯峨議員	<p>1番嵯峨です。村長にお伺いします。9ページ、民生費の新型コロナウイルス感染症対策、福祉灯油の関係ですが、1人当たり5,000円から1万円になった。以前私が一般質問で福祉灯油のアップができないかという質問をさせていただきましたが、その時にはできないという回答でありました。それで、これは確かに上がって非常に喜ばしいことですが、この上がった経緯とといいますか、一回できないと言ったのが上がったその変容というか経緯というか、中身について村長からお伺いします。</p>
	議長 榎屋村長	<p>榎屋村長。</p> <p>お答えをします。その後の状況の変化を踏まえて、その方がいいのではないかということで今回そういった事業に組み立てて議会さんに議決をいただくというふうなことで思っておりました。なお、余分な話しにもなりますけれども、いずれこれまで5,000円の方が1万円になった訳ですので、あと残った対象外の方をどういうふうにしたらいかなど。やっぱり燃油価格の高騰で影響等ある訳ですから、そのこのところは今12月補正に向けて熟慮しておりまして、今またやるやらないってしゃべればまた後で言われますので、今のところはそこらを考えておるという状況です。</p>
議長 嵯峨議員	<p>1番嵯峨議員。</p> <p>確かにあの時村長の答弁で災害的事由、あるいは灯油価格の高騰等が見込まれる場合には考えるというか、上げる方向も考えるというふうな答弁でしたので、最近の灯油価格がえらいことになって、灯油ですと10あたり100円を超えてポリタンク1つが配達料込みで1,900円近いんですよ。やっぱりそうすると本当に年金生活者、年金のみに頼っている人たちはかなり打撃だと思います。まずそういった経緯もあるということで本当であれば今度一般質問でこれが出ないのであれば、高騰したからもう1回考えてくれないかと言おうかなと思ったけども、実際こうい</p>	

	<p>議長 大上智議員</p>	<p>ったもの出てますので、まずどうもありがとうございました。じゃあ残りの分についてもやっぱり原油の高騰がちょっと大変なことになっていますので、考えをよろしく願いいたします。以上です。</p> <p>ほかに、ございませんか。</p> <p>4番大上智議員。</p> <p>4番大上です。3点ほどお聞きしますけれども、8ページの17款寄付金7,000万円を載せている訳ですけれども、この7,000万円の根拠というか、その辺の説明をお願いいたします。</p> <p>それから2つ目、8ページの20款諸収入、ここに240万円ってあるんですけれども、この助成金っていうのはどこから大体きているものなんですか。</p> <p>それから3点目、これは分かるか分かんないか分かんないですけれども、11ページの8款の土木費の1,463万9,000円の橋の分ですけれども、それが減っている訳ですけれども、何で減ったというか、根拠っていうかこの部分が軽く済んでこういうマイナスになったか、その辺のご説明をお願いします。</p>
	<p>議長 森田政策推進室長</p>	<p>森田政策推進室長。</p> <p>ふるさと納税の7,000万円アップの根拠ですけれども、今現在で大体で2億2,400万円になっていると。今ご存じのとおりサケが不漁ということで、これからイクラでちょっと追いつけたいところですけども、ちょっと不安材料もあったり、あとはイクラ以外の返礼品でちょこちょこ伸びている分もありますので、その分を見込んでこれくらいが次の目標額ということで2億7,000万円ということにさせていただいております。</p>
	<p>議長 大村建設水産課長</p>	<p>もう1つは旭日区のコミュニティの関係ですか、これは宝くじの売り上げ分から市町村にくる助成金でございます。</p> <p>大村建設水産課長。</p> <p>8款の橋梁補修補強工事の1,400万円ほど減の内容でございますけども、6月の定例会で補正させていただきました床板の補修、劣化の進んだことによる床板の補修、3,000万円補正させていただきましたが、実際全ての箇所をチェックして使用した補修材の量でそれが内枠に収まったということで減額したのが主なものでございます。あとは2号工事、補助対象の部分の工事が内枠に収まった関係で3,000万円の単独で全額起債での補正でしたけども、その分が一部補助対象の方にもっていったということで、トータルで1,400万円ほどの減額となっております。</p>
	<p>議長 大上智議員</p>	<p>4番大上智議員。</p> <p>それではさっきの寄付金の関係ですけれども、長年というか2~3年かなり高額で推移している訳ですけれども、7,000万円という数字は去年一昨年の実績からこの辺までは大丈夫でないかというので出した数字と理解してよろしいんでしょうか。</p>

<p>議 長 森田政策推 進室長</p>	<p>森田政策推進室長。 今の段階で2億2,400万円ですか、前年度の12月で2億5,000万円になっていますので、そうすると2億7,000万円というところで、ここはいきたいということでさっき村長さんもおっしゃったように確実にここはクリアしたいなというふうな努力はしたいと思っております。</p>
<p>議 長 大上浩史議 員</p>	<p>ほかに、ございませんか。 3番大上浩史議員。 3番大上です。同じような内容になる訳ですが、このふるさと納税の7,000万円の件で見返りの商材といいますか、地元商材の関係が7,000万円であれば少なくとも2,000~3,000万円の商材が必要になる訳なんで、そこら辺がどういうふうな材料というか、われわれ一般的に考えればさっきも課長が説明するとおり、イクラとか新巻とかそういった類いのもんだと冬の商材はそういうの見込んでる訳ですが、だがしかし、最近、昨日今日の漁状況を見ればほとんど皆無状態、かつて以来不漁ということでサケがおそらく1,000本とれるのかなと全く想像がつかない状況なので、それで商材を仮に見返りに別な商材が出るのか、そういったそれこそPRというかそれによつてのそれこそ品物がございませぬよというようなキャンセル問題が出てこないのか非常に危ぶまれる訳ですが、そこら辺はどういうふうな考え、どういうふうな大丈夫、7,000万円受けても商材が大丈夫あるんだというようなことであるのかどうか、そこら辺の内容をお知らせ願いたいと思います。 それから、あと1点。商工会関係のプレミアムの300万円の件ですが、これが毎年最近やって効果を有らしめているとは思いますが、この内容について果たして、今年も2回目だ訳ですが、果たして他町村に行くあれが結局これによって抑えられて地元の商工業者が助かっているのかどうか。あるいは目的がそれこそ村民への商材に商品に対する助成なんだという考え方で進めていけばこれは関係ない訳なんです、そこら辺をどういうふうな担当者は考えて300万円だ500万円だということをやっているのかということが1つ。それからもう1つはそういった意味で他町村に流れない、何割かは地元でそういうふうなこの300万円の恩恵を受けているんだというその調べとか調査とか、非常にこれは調査そのものも難しい訳ですが、そこら辺を調査研究してやはりこれは将来的にこういったプレミアムは必要だと私は思うんですが、そういう意味でどういうふうな理解しているのかということについての質問が1点。 それから、もう1点はこの1,400万円の普代橋の三角の1,400万円、先ほど課長は補助金の方の助成に回ったということなんです、そこら辺がいくらくらいそっちの方の金額が回ったのか。それから別なマイナスの要素がいくらくらいなのか、この問題についてはご承知のとおり説明もあつている訳ですが、追加の3,000万円をそれこそ追加工事があつ</p>

	<p>議長 森田政策推進室長</p>	<p>てそういう見積もりに関してはおかしいんじゃないかという問題点が前あった訳ですが、そこら辺について、なおかつ、また 1,400 万円も三角が出ているな、いいことにはいい訳ですが、裏を返せば要するに見積もりがこの分についても甘かったんじゃないかというような考えもある訳なんで、そこら辺をやっぱり納得がいく説明をお願いしたいと思います。以上 3 点をお願いします。</p> <p>森田政策推進室長。</p> <p>いくらに変わる食材はあるのかということでございますけれども、やっぱりいくらが今ちょっと厳しい状況になっております。ただそれに代わるもので伸びてきているものがありますので、あとは今の商品のラインナップも 240 種類くらいになっているんな組み合わせをしたりとか、そういうふうなのでちょこちょこ伸びてきているいくらに変わる商品がありますので、そこについては大丈夫かと思っております。以上です。</p>
	<p>議長 山崎農林商工課長</p>	<p>山崎農林商工課長。</p> <p>プレミアム付商品券の件でお答えさせていただきます。議員さんご質問の他市町村にお金が流れているかどうかというのなかなか分かりづらいところがございます。商店街の売り上げ等が元年からピックアップで、種類別で小売りだったりとかサービス業だったりとかという部分があるんですが、軒並み元年度までの売り上げのまずは 5 割 6 割ってというような売り上げになってますので、全体的に村内での消費というのは落ちているものと考えております。あとまた前年との売り上げ比較で 30%、3 カ月連続で 30%減額だったりとか、前年の 50%減額ってところで商工会さんが窓口ですが、地域企業経営支援金というのがあるんですけれども、こちらの方の 1 事業体 40 万円、営業所等か支店等があれば最大 120 万円がもらえる支援金があるんですけれども、こちらの方も元年と 2 年の比較の部分では 13 社、今年の部分ですが、元年の 1 年分と 3 年の今年の部分ですが、元年と 2 年前との比較の部分でも 4 月からの受付で現在 12 社が該当してもらっているようでございます。これが 3 月まで続きますので、もっと増えるのかなと思っております。その分村内の消費が落ち込んでおりますので、この部分をやはり商品券を使って地元での消費をということでの 2 回目のプレミアム分、若干 40 (%) から 30 (%) には落とさせてもらいましたが、その分前回もご指摘があったように広くということで今回上限 2 万円で 500 世帯分に行き渡るような施策を提案といいますか、予算をお願いしたものでございます。以上です。</p>
	<p>議長 大村建設水産課長</p>	<p>大村建設水産課長。</p> <p>普代橋の関係でございますが、まず床板の補修による減につきましてはおおよそ 1,150 万円ほど、残り 300 万円ほどは補助対象の方から支出しているというものでございます。大きく減額になったことから最初の見積もりが甘かったのではないかとということでございますが、この床板の劣化の状況については、全てはつってみないと総体の総量が分からない</p>

議長  
大上浩史議員

ということがございましたので、仮にぎりぎりの予算を計上して足りなくなるとなればまた工事を中止してというかたちになりますので、補正の段階で最大限ここまで計上すれば大丈夫だろうという範囲で計上をしておりましたので、実績でこれくらいの額の減額となっております。以上です。

3番大上議員。

この1,400万円の説明を聞いた訳ですが、この件についても全く納得がいけないんですね、1,100万円が大まかな見積もりを余分な分を、ふたを開けてみなきゃ分からないから1,100万円それこそ余計見積もったんだと。それは課長そのものが見積もるのであればまだ素人だからそうかなと分かる訳ですが、やっぱり専門家をお願いをして見積もりを、設計見積もりを再度またやってもらっての俺は設計金額だと思うんです。そういう意味からいって専門家がそれこそそういうふうなあやふやな大雑把な考え方で細部見積もりを余分にやるのかなというふうな思いがあって非常に納得いかない訳ですが、もう少しそこら辺を納得いくような説明をもう1つお願いします。

それからふるさと納税の関係で課長は大丈夫ですという品目が200品目もあるのでということで納得了解はしますけども、だがしかし、一応PRの面においてはやっぱり冬のメインは生のサケとか、それこそ新巻とか、それこそイクラというのがメインでないのかなと。そのPRをしてこそ納税が、お客さんが来てくれるんでないのかなという思いが強いので、そこら辺がなくなった、出来ないということになれば非常にそれこそ過大広告だうんぬんかんぬんで非常に大変でないかなという変な思いで質問している訳ですが、仮にイクラの場合だって品物が少ないということが大前提ですが、それ以上に今度は値段も3倍くらいに不調法だけれども3倍。昨日だか一昨日に宇部の越戸スーパーの新巻を見たら干した品物がそれこそ1.5キロくらいのやつが2,900円もしているんですね、ちょっと2キロくらいかなというのが3,900円、4,000円もしている。しかも肌見ればそれこそ肌が全然銀毛でないのだけれども、全くものすごい倍にも3倍にもなっているなど。今年の新巻今から獲れば何ぼかいいとは思いますが、今年の新巻が間に合うくらいの数量が出るのかなと全く新巻の商材は全然関係ございませんって言うのであれば問題ないけども、そういった意味で俺は品物もそれこそ広告宣伝したものよりかはものが小さいとか肌が全然悪いとか、色が全然悪いとかというような面において非常に過大広告に結果的になるんでないのかなという心配がある訳ですが、それでもこれでも大丈夫であるということであればいいけども将来的にやっぱりそういった結果的にうそになれば来年のまたあれにすごく影響が及ぶと思うんです。だからやはり今課長が言うようにサケに関係ない別な200品目がある、カレイとかアジとか何とかの分で補填ができるというのであればいいけども、そこら辺がいかかな

		<p>もんかなという思いがある訳ですが、もう 1 回そういった面で再度回答をお願いします。</p> <p>それからこのプレミアムの関係で確かにコロナの関係のあれはある訳ですが、コロナが今抜けた状態、今度 1 月 3 月にまだどうなるか分かんないけども、それとは別個にプレミアムという制度そのものに対してどういうふうに、私は悪いとは思いませんが、もう少し将来的に続けるために商店にもプラス、村民にもプラスという意味でやはり調査研究どういうふうに他町村に流れるのが、どこもやってる訳ですがプレミアムは、いずれのものにも地元でそれこそ還元ができていないんだ、村民に還元が出来ていないんだという検証結果が必ず必要だと思うんです。それによって継続的に将来的にそれこそ毎年 500 万円なり 300 万円なりそういった意味で村民に対しても商工会に対しても助成をするんだという前提であるならば検証が必要だと思うんですが、ただ 300 万円プレミアムが、世の中がそういうことだから国がそういうことだから今年もやりました、はい今年もやりましたという単純な商工会助成の問題でなくして、やはり確たるそういった検証をしてこれはどうしても必要不可欠な問題だというふうなことを俺はしかるべき、やるべきだと思うんですが、そういう意味で再度また課長からの説明をお願いします。</p> <p>大村建設水産課長。</p> <p>これほど数量が減になるのは設計屋・専門家がやっておかしいんじゃないかという内容でございます。確かに全て一旦はつって必要数量を出してからやれば正確な数字ができた訳でございますけれども、それを先にやってますとどんどん工程がまた遅れてしまうということがございましたので、村の方で判断して早期の完成の方を優先するということが最大限必要と思われる量で補正をさせていただいております。本来であれば工期的に余裕があったり通行止め等ない箇所であれば全て 1 回はつって必要数量を詳細なところを出して補正予算計上、発注という形になる訳でございますが、今回については長い間通行止めをかけておりましたので、早期の交通開放を優先するためにそういった事前のはつっての調査をしないで作業の方を進めたということで今回このような減になったということでございます。</p> <p>森田政策推進室長。</p> <p>ご心配いただきありがとうございます。新巻については 1 本で出すということは今やっていなくて、切り身でやってる、新巻は出しています。だから 1 本を返礼品にしてるといことは今やってませんので、さっき心配な色がかかるとかそういうのはないというふうに思っております。あとは村民の皆さんに還元される寄付金でございますので、2 億 7,000 万円を目標にがんばりたいと思います。以上です。</p> <p>山崎農林商</p> <p>山崎農林商</p> <p>山崎農林商</p> <p>プレミアム付商品券の関係でのお答えをさせていただきます。議員お</p>
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>工課長</p> <p>議長 大上浩史議員</p>	<p>っしゃるとおり確かに利用の内容といたしますか、こういったものに使われているかっていうのはアンケート調査でも考えてみたいと思います。この商品券、地元限定にしておりますので、各商店事業者さん方の売上げが落ち込んでいるっていう事実がございますので、やはりそこで消費を盛り上げるといいますか、使ってもらおうという意味でのプレミアム付商品券という部分もございますので、前回は1,400万円、今回は1,300万円合わせて2,700万円の売上げ分が商店街の中で使われるということでございますので、一定の効果は出てくるかと思っておりますけれども、本来はほかでというか他市町村で買う分が村内で買ったとってアンケートが出れば一番いいんでしょうけれども、何かアンケートをちょっと検討させていただきたいと思っております。</p> <p>3番大上議員。</p> <p>3回目です。そういうことでいずれこのプレミアムに関しては、ただプレミアムをやりましたという、私の言いたいのはプレミアムをやりましたということではなくしてそういう調査研究をして結局普代の商工会・商店街が活性化になる、村民にそれこそ助成するという2つの目的があるもんだから、ぜひとも長続きをしてもらいたいという意味からもやはりそういったただ単純にプレミアムをやりましたよというだけでなくして、やる原因がどこにあるんだやと私が言っても言わなくてもということなんだよとそういうことでのプレミアムの事業をやるんだということを課長は特に神経をとがらせてもらいたいという意味で私質問してまずんで、よろしくお願ひします。</p> <p>それから建設課長の理屈、全く俺は屁理屈だと思うんですよ。なぜかといえば補正を案件が出た時点でこういう事情だから今1日も早くあそこを造らないとならないからまず差し当たって2,000万円なら2,000万円今上程させてもらうから何とか通してくださいよと、通すよということで今のさっきの言葉を補正案件に出る時点で言われるのであればそうかなという訳ですが、結果論として今こうやって三角の1,400万円が出た時点でこれは過大見積もりでなかったのかと言う質問に対して今のよう説明っていうことはありえないと思うんですよ。確かに内部事情はそうだったかも分かんないけども、であるならばこれを上程したのは3カ月前だか半年前か分かんないけども、そういう意味で説明をして理解をしてもらってそういう訳で今1,600万円余計余ったからそういうふう三角にしますよということであればなるほどという思いがある訳ですが、今結果論としてこの三角が出たからこの三角はどうなのや、過大見積もりでなかったのかといったところで、いや実は過大見積もりでしたと大雑把にやっぱり早くやんなきゃならないから過大見積もりをしてみましたと正直に言えば言ったってということになるかもしれないけども。やはり私はそれこそ今後の問題として今の要件だけでなくして、やはり見積もりをするときにはそれなりの見積もり屋にお願いをして、やる場合</p>
---------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>議長 大村建設水産課長</p> <p>議長 大上智議員</p> <p>議長 柁屋村長</p> <p>議長 金子議員</p>	<p>にはそれなりのそれこそ見積もってもらってそんなに隔たりがない50、100万円の、それこそ隔たりのない数字でもってやってもらうんだということであればいいけども、それが全然違って今言えば4億4,000万円の工事だ訳ですが、確かに総金額から見れば3,000万円は食い違っても追加工事をやっても不調法でないかというかも分かんないけども、それこそ今さらそういった説明というのはおかしいんじゃないかと思うんだが、もう3回目だからいずれ今後そういうことのないような考え方もう1回今の1,400万円の三角についての、正直にしゃべったって言えばそれで済みますけれどもね。</p> <p>大村建設水産課長。 6月の定例会の補正の段階ですみません、私急遽その分内容は精査できませんがというかたちでご説明したと思っておりましたが、その説明が不十分だったかなと思って反省しております。今後はそういった部分もきちんと説明して予算計上の方はさせていただきたいと思います。</p> <p>ほかに、ございませんか。 4番大上智議員。 3回目です。これは村長に対してお願いというかあれですけども、この一般補正予算とか何とかのあれを当日というか、前もってこのとおりあれは載りますけれども、よく当初予算とか決算のときに概要説明って副読本ではないども、もっと皆さん今課長等がしゃべっているような内容を事前に砕いてっていうかもちょっと突っ込んで分かりやすいような説明書が出してもらっているんですけども、できればそれがあれば事前に本当の補正予算のあれと併せて事前にわれわれも把握できる部分があってもうちょっといろんな質疑・突っ込んだ質疑もできると思いますので、どうか課長連中から頑張ってもらって、概要の部分のあれを出来る範囲でやっぱり提出してもらいたいなと思うんですけども。いかがなもんですか。</p> <p>柁屋村長。 お話しの通りでございますので、当方では局長さんも議運等で説明するものなかなか全部の事業把握するもの難しいといったような中で、局長さんも説明いただきますし、それからうちの課長たちも呼んでいただけますし、その中で出来ればというか、うちからも財政が作った補正の細い部分の説明書といったのを局長さんにおあげするように取り組みというふうなことで指示してありました。議会の局長さんの方で皆さんと一緒にそれを確認していただいて、不足の部分等があればなおこういった部分も足してくれとかといったのを指示いただければ対応して濃密なというか協議が出来るように取り組みしたいと思います。</p> <p>ほかに、ございませんか。 2番金子泰男議員。 1点だけ質問させてもらいます。9ページでお願いをします。企画費の</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>議長</p> <p>榎屋村長</p>	<p>部分で昆布ブラザーズ着ぐるみ製作事業といった部分で昆布についてお聞かせをいただきたいなと思います。村においてはいろいろなこういう着ぐるみといったようなことで昆布の宣伝PRを本当に漁業者のためにやっていただいているといったような部分では本当にありがたく、敬意を表したいと思います。これは漁協さんで取り組めばいいことだろうとは思いますが、やっぱりこういう事業で200万円といったような経費等もある訳ですが、そういった中でやっぱり今昆布の需要が非常に伸びないといったような部分で本当に昆布漁業者にとっては今特にも定置サケが不漁、そしてアワビが不漁といったような状況の中でつい最近ワカメも昆布も種付けをした訳ですが、来年になってまた昆布が需要が伸びないから余ったといったようなことになれば非常に漁業者が何をやったらいのかといったような部分にくると思います。本当にそれが現実にくるのではないのかなといったような大きな危惧を持っております。そういった部分でやっぱり今、昆布を煮て食べるあるいはサラダにして食べると、昆布堆肥といったような部分でもいろいろ研究はしてもらっている訳だろうとは思いますが、この子どもたちから皆が食べやすい昆布、お菓子類、何か一服おやつにもすぐ食べられるような開発ができないものかなといったような部分を私は何かやってほしいなと。これは村が率先してというのではなく、漁協さんも一緒になって取り組んで昆布が刻み昆布、すき昆布だけの販売をしては今の状況が続くだろうと思えます。やっぱり食べやすい何かお菓子、つまみ類はある訳ですが、子どもが食べれるようなつまみには至っていない。簡単に食べやすいような、村長さんはいろいろな出張等がある訳ですが、盛岡に行こうが東京に行こうが何か分かった人を伝ってもお菓子を作る会社、そういったところと何とか連携をして昆布を使用したお菓子類ができないんだろうかといったような部分で何とか進めていただきたいなと思います。村としてもワカメ・昆布が村の大きな産業の1つといったような部分でいろいろと経費をかけて取り組んでいると、本当にこれはありがたいんですが、全然伸びていかない、昆布は特に。そういった部分をぜひともお願いをしたいなと。お菓子を作る会社とやっぱりそういったところから刻みでも何でも、例えばピーナッツを混ぜていつでもおやつとして食べられると、ぱりぱり食べられるといったような部分もあると思えます。そういった何か手立てを取っていただきたいなというように1漁業者として考える訳ですが、何かあったらお願いをしたいです。</p> <p>課長ですか、村長ですか。</p> <p>（「村長さんから」と金子議員）</p> <p>榎屋村長。</p> <p>お話しのとおりな状況ということを確認しておりましたし、そういった取り組みもさせていただきたいというふうに思っておりますし、過去にも昆布大使さんもお願ひしながら漁協さんとも一緒に取り組んできて</p>
--	-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

おりますので、なおそこら辺の強化にも努めていきたいなというふうに思っております。一応、私の例ですと東京のキューピーさんにも行ったり、それからラーメン屋さんにも行ったりせんべい屋さんにも行ったりいろんな、あとはお茶屋さんとか昆布の粉末をあれしたりお茶をあれするにといったようなそういったいろんな事に取り組んでおりますが、行政の職員はなかなか難しい面もあるので、昆布大使、それこそ恵先生等々もお願いする中で漁協さんと一緒になって取り組んでいるというふうな実態ですが、なかなか思うような成果もあげられていない訳ですし、またすぐすぐ上がれば誰もやっているし、そこらを粘り強く取り組んでいきたいというふうに思っておりました。

型通りのことばかりではなくお話しさせてもらえれば、今私はくろさき荘に昆布の煮つけとかこれを出せというので実際に出させておまして、そしてそれをお客さんの要望によってこれほしいなといった方を何人あるかちょっと聞いて、そしたら結構あるといったようなことで可能であればこの商品化を「青の国」と一緒に取り組んで、普通の堅い昆布とか北海道の昆布でなくてもおら方のような柔らかい昆布でもそういったのができないかなと、できないのかもしれないけども、そういったことの研究とか取り組みをしたいなというふうに思っておりましたし。

あともう1つは昆布焼酎。これをいつか作って失敗したこともあったんですけども、数年前にちょっと北海道から取り寄せたのは非常によいということで、矢巾の方々に「あれ普代で作っているのか、あれほしいな」といったようなことで言われたんですけども、残念ながらおら方ではございませんので、買い寄せますとかといったような話もしましたけども、いずれそういった広くいろんな種類の取り組みをやっていけるようにいろんな補助を使いながら取り組んでいければなというふうに思っておりました。

あと当然昆布の村づくりということで昆布もキャラクターにしてやっている訳ですけども、当然に昆布生産漁家のことも大変その部分で後押しをしたいなというふうにも思っておりますが、実際に昆布の村というふうなことで逆にその昆布が村の知名度を上げるといったようなことにもなっております、そういった知名度を上げる昆布であれ、そして灯台であれ、そして最終的には「青の国」といったようなものをいろんな場面で活用してて全体に盛り上げて、知名度を上げることで同じ商品棚に並んでいるおら方のワカメが高いところに上がっている、あるいはお客さんが横に並んでいるものでもおら方のものから取るといったような小さいその商品の部分からも頑張っ、あるいは漁協さんが、水産会社さんがやる大きな取引の部分もそれによって少しは活発になりながら取り組んでいければなというふうなことで思っておりました。いずれ大変に漁業今厳しくて頭が痛い状況でございますけれども、議員さん方に

	<p>議長 金子議員</p>	<p>も指導いただいているようにやっぱりおら方の漁業は養殖が1つのベースでしっかりしたものがあつた中でそれに定置漁業が加わって、そしてそれを基本の中で今何かを新しいものを入れたり今ダメになっているものを少し改革していったりというふうなことで漁業者、関係者の皆様と取り組んでいきたいというふうに思っております。</p> <p>2番金子議員。</p> <p>金子でございます。今村長さんから答弁をいただきましたが、本当に村としては昆布・ワカメいろいろな水産部分について非常に大きなこのPR等やっただいただいているといったこと、これはずっと続いている訳ですけれども、今本当に特にも生産組合やっている定置漁業者等、本当にサケが何本の世界です。全体でも何十本といったようなその部分で今度、今現在ですら、昆布これの需要が伸びていないといったようなその部分に聞いておりますが、是非とも子どもたちも食べれるような商品開発、これを事業化に乗せていただきたいなど。これはやっぱり漁協さんも一緒に取り組んでいただくようなその村としてその指導という言葉は合わない訳ですが、一緒に取り組んで進めていっていただきたいなというように思っております。ぜひこの煮る、あるいはサラダといったような部分でなく、これはなかなか今の若い人たちはなかなか作るに大変だから進まないと思うんです。今の若い人たちが軽く食べれるような商品開発といったような部分で何とか事業化を進めていただきたいなと思います。これは本当に今いろんな会社に提案して作ってもらってもそれが即売れるかといえば全く分からない未知の世界だと思いますけれども、何回も失敗をして何年も失敗したんだよと、そしてこれがようやく成功したと言えるような部分になればなと期待をしておりますので、何とか将来漁業者がここに残りたいと言われるようにわれわれは漁業者としても年数がない訳で明日終わりの訳ですから、今後、漁業者が普代村にずっと残れるようなそういった状況をつくるためにも何とか進めてこういった部分を進めていただきたい、このことをお願いして質問を終わります。</p>
	<p>議長 森田議員</p>	<p>ほかに、ございませんか。</p> <p>7番森田幸一議員。</p> <p>それでは、ちょっとお伺いします。10ページ、4款1項5目感染症対策についてお伺いします。2回目の接種まではトラブルもなくスムーズにいったと私は見ているんですが、3回目の接種、スムーズに行うために2回目の接種の反省点があつたらそれを生かしているのか。その辺のこと、それから2回目の接種終わり、数が確定して報告受けましたけれども、どのくらいの人がちょっと未接種なのかまたくどいようですけど、報告願いまして、3回目またなつても2回目の未接種の人は3回目も未接種になるんでないかなと危惧しているんですね。それで若い人も高齢者の人もあるんでしょうけれども、特に高齢者で会場に来れないような人</p>

	<p>議長</p> <p>道下住民福</p>	<p>に対しては、課長は方策を考えて接種を勧めるというふうなお話があったように記憶していますが、2回目までで接種会場に来れない人に対しての接種はどのように行われたのか。3回目もそれをスムーズに行える、1人でも多くの人の感染を防ぐ意味では接種をしてもらいたいと思いますので、ご努力をお願いしたいと思いますが、その辺をお伺いします。</p> <p>それから6款2項1目の12節、ナラ枯れですか、m<sup>3</sup>ということで309m<sup>3</sup>という私聞き間違いしなければそのように私は聞いているんですが、これ本数とかで言えば何ぼうくらいで、そしてどの地区も報告になりましたけれども、その地区の感染の状況、増えているのか、減っているのか。そして感染に対して今後の有効な対策というか今現段階で感染したのを発見して今の処理をしているそれだけなのか、もっとワクチンじゃないけども、そういうのは開発の途中にあるのかどうか、そういう情報がありましたらお知らせ願います。先日視察に行った際、ちょっと関係ないかもしれませんが、三陸沿岸道路の脇の松が松枯れ、すごくあったんですね。ああいうふうに松枯れとかナラ枯れがこっちの方に進んでくる、そうすれば大変なことになると思います。課長はどのように感じていらっしゃいますか、その辺もお伺いします。</p> <p>それから7款1項1目18節プレミアム付商品券、1世帯2万円を限度に希望者の人に配布するということですがけれども、前回私がちょっとお聞きしましたけれども、買いたいけどもちょっと買えなかったという人の話を聞きました。それでそういう人を一人でも少なくするために買っていただいた1世帯2万円限度という、どういうふうなチェックをして売ることか。その辺もお伺いします。</p> <p>それから7款1項2目18節、地域で宿泊体験・レビュー事業、前もやってその予算いっぱい限度まで使えたのか、残ってしまった部分はあると思うんですけども、今度またそれを実施するにあたってそのPR、どのようにPRして利用促進を図るつもりなのかお伺いします。</p> <p>あとふるさと応援寄付金、応援していただいている人に本当にありがたいと思っておりますが、応援していただいている人の分布と伺いますか、県内・県外、関東地区それから普代出身者、いろいろあると思うんですけど、どういうふうな傾向があるのか。それからリピーターはどのくらいいるのか。それから室長がちょっとお話しになりましたけれども、新商品というか新しい方策も考えている、それも結構功を奏しているというお話しでしたが、その様子もちょっとお伺いしたいと思います。以上です。</p> <p>まもなく5時になろうとしておりますが、質疑が長引いておりますので、午後5時以降も議会は継続していきます。よろしくお願います。回答をお願いします。</p> <p>道下住民福祉課長。</p> <p>お答えいたします。コロナワクチンの接種に関しまして、大きく3</p>
--	------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>祉課長</p>	<p>点のご質問だったと思います、2回目までの接種に関して、反省点それを生かした3回目の接種というようご質問だったと思います。反省点という中では今年の5月上旬から接種を始めたんですが、先月4月から予約を電話予約でまずスタートをいたしました。大変たくさんのお電話をいただきまして、回線も拡大というか増大というか、増やして対応はしたんですが、なかなかつながらないというようなお話しを何回もいただきました。3回目の接種につきまして、その予約のシステムなのかあるいは高齢者の方とかもいらっしゃいますので、なかなかインターネットでの予約っていうのも難しさも出てくるのかなというふうに思います。他の市町村で予約なしでこちらの方からプッシュしてご案内するという方法を今考えております。特に3回目の接種は2回接種後の8カ月以上経過するという対象になりますので、おのずとある程度その方の8カ月後が見えてきますので、そういったご案内を今考えております。</p> <p>2つ目のご質問であります、未接種者というようお話しでありました。2回目までの対象者が細かく数字を申し上げますと2,399人、対象者ですね。これは12歳以上であります。に對しまして接種された方が1,192人、接種率でこれ対象者を分母とした場合に91.37%という接種率にはなりません。となりますと約200名ほどの方が未接種な状況であります。接種を勧める中では未接種、未予約者の方々に意向確認を取らせていただきました。回答は40%ほどでありまして、中にはそのままこちらの方で予約につないだという方もいらっしゃいますし、ご回答いただけないという方も6割ほどいらっしゃいました。今回の3回目の追加接種につきましては未接種の方も今回の追加接種の対象となりますので、そのようにまだ接種をされていない方で接種を希望される方はこれから接種が始まる期間において接種をいただけるようにご案内はしたいと思っております。ただ意向調査の中では強いアレルギーを持っている方、アナフィラキシーの関係でお医者さんの判断で接種はちょっと控えた方がいいというようなご判断もあったかと思っておりますので、そういった方を除いて希望ある方にはそのようにご案内をしてみたいと思っております。</p> <p>最後、高齢者への配慮というようご質問だったと思いますが、高齢者の無料タクシー、失礼しました、無料バスを配車いたしました。そのほかの障害のある方についてはタクシーの助成券、福祉タクシーに追加をしてですね、そういった配慮というか対応をさせていただきました。今後、3回目におきましても特に冬場となりますので、雪道等も心配されますのでそういった無料のバスの配車というのは取り組んでまいりたいと思っております。そのほか個別のご相談・申出等ありましたら、個々の対応をしてみたいというふうに思っております。以上です。</p>
<p>休憩再開</p>	<p>議長</p>	<p>ここで10分までトイレ休憩といたします。(17:01)</p> <p>休憩前に戻り、これより会議を再開いたします。(17:09)</p> <p>答弁をお願いします。</p>

	<p>山崎農林商工課長</p>	<p>山崎農林商工課長。</p> <p>それでは私の方からナラ枯れとプレミアム付商品券、宿泊体験レビューの3つのご質問にお答えさせていただきます。まず最初のナラ枯れの方ですが、309 m<sup>3</sup>の部分では547本でございます。発生している地区、場所でございますが、太田名部から県道を和野山に上がっていくと、上がって行って左に入ると団地に入る訳ですが、そこを行った先の左側の山林がまず1カ所。それから和野山の中央道がある訳ですが、畑を真っ直ぐ行くと碑があって、農協さんの方から取得した山の部分が2カ所目。それから黒崎に向かう県道ですね、元有料道路の部分ですが、上がりきった先がちょうど北側の海岸線が見えるといいますか、山火事防止が貼ってありますけれどもその左側だったりとか。あとそのカーブを向かって地区に入る手前が木が切れておりますけれども、その手前の右側の村有林の部分、それからくろさき荘に向かっていきまして県道から休憩ハウスがある訳ですが、そこから先の真ん中の部分だったりとかその先の黒崎店望台、あと灯台の付近、くろさき荘の右側、キャンプ場といったところが被害箇所でございます。</p> <p>それから対策という部分でございますが、基本的には前もってというのが一本一本に薬をとというのがありますが、どこに被害が及ぶかわからないので、費用が莫大になるというので現実的ではないので、今のような例えば見つけて駆除すると。もしくは古くなったといいますか、太くなった木に入りやすいので、そういった木は最初に例えば処分といいますか、切る、新しく更新するような感じで販売するとか、そういうかたちで出来るだけ被害が起きる前に何とかそれを売ればというのが1つと。あとは見つけてその都度処理をするというのが徹底的に、元年度からうちの方では見つかっておりますので、2年3年で処理をしていると、ここ数年で徹底的に行わないと難しいのかなと思っておりますので、通常の伐倒燻蒸、あと被害が多く本数になれば流木燻蒸というので対策をするしかないと考えております。課長の考えはというので、できるだけ今のうちに100%はできないんですが、できるだけ広げないようになんとかということ徹底するしかないかなと思っております。あとは県の方で今回もそうなんですが、経費といいますか、補助金の枠をもうちょっと広げてもらわないと県の枠で標準事業費って決まっているんですが、それを圧縮してその75%を補助ということで今回の持ち出しの部分が結構出てきておりますので、その補助金を少し広げてもらいたいという気持ちもございます。</p> <p>（「増えているのか」と森田議員）</p> <p>増えています。増えているので、どんどん。</p> <p>（「どのような増え方、爆発的に増えているのか。それとも徐々にとかその辺は」と森田議員）</p> <p>何が爆発的なのかちょっと分からないですが、本数的には去年が150</p>
--	-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本だったのが今回 500 本なんで、やっぱり個人的には爆発的な広がりという考えでございます。

次に、プレミアム付商品券の販売方法というかチェック方法ということですが、一応商工会さんとか各店舗に申込書がございますので、そこに住所・氏名・電話番号・世帯主の名前とありますので、それを商工会さんの方でチェックをかけてます。世帯主の名前を書きますので、1 世帯ごとということで上限 2 万円にならないようにチェックをかけてます。

それから宿泊体験レビューの部分でございますが、9 月、前回の定例会だと思えますけれども 150 万円ほどお金を計上させていただきました、そちらの方が今月末で利用っていいですか、上限に達する予定でございますので、来月からの部分で今回補正計上させていただいております。それから…

（「2 万円にしたことで、議員さんの意見で何ぼ増やしたか、対象者とその辺を」と榎屋村長）

すみません。プレミアム付商品券でございますが、4 月に販売したときは上限 2 万 5,000 円で 400 世帯という部分で実際は 410 世帯に販売されたようですが、それは議員さんのご指摘がございまして、もう少し広くということで、買えなかった人があったんじゃないかという部分がございますので、上限を 2 万円にしまして 500 世帯へいくような販売方法を今回計画しております。

あと宿泊体験レビューでございますが、先ほど申しましたが今月末でこれは補正の部分を使い切る予定でございますので、12 月からの部分、まだ GOTO も始まっておりませんので、今の 3,000 円の助成券、それから 1,000 円の商品券、プラス 4,000 円の 500 人分ということで今回予算計上させていただいております。これで 12 月から何とか 3 月ぐらいまではいくのかなと思っております。あと PR 方法としましては HP に掲載しておりますので、そちらの方での PR を図っているということでございます。以上でございます。

議 長  
森田政策推  
進室長

森田政策推進室長。

ふるさと応援寄付金の傾向でございます。昨日現在で寄付件数が 1 万 3,650 (件) ありまして、関東が 7,302、近畿が 2,012、中部が 1,598、これが大きいところでございます。ちなみに岩手県内は 314 件で普代村内が 1 件というふうな状況でございます。あとは北海道とか東北とかになります。そしてリピーターがどれくらいかということでございますが、ちょっと 1 万 3,000 件全部見るのも大変で、担当の話しでは去年よりは増えているというふうなことでございますので、それは増えているということでございます。新商品とか人気商品ということでございますけれども、そこをしゃべるっていうと他の市町村との絡みもあって、これが普代が人気だっけって言えばちょっとこう、そっちを寄付額下げられてやられる可能性もありますので、ちょっとそこは控えさせていただきた

<p>閉 会 (17:20)</p>	<p>議 長 森田議員</p>	<p>いんですが、1つ言えば釣りのルアーっていいですか、あれを入れたたらちょこちょこ寄付額が入ってますし、あとはワカメ等もやっぱり「三陸普代おいしい」っていうことでワカメもちょっと去年よりは伸びてきます。あとはふるさと本舗というところとANAさんを新しく2社仲介サイトを入れましたので、そちらからの寄付も見込めるかなということで考えております。以上です。</p> <p>7番森田議員。</p> <p>ちょっと1点だけ、プレミアム付商品券でちょっと変な質問ですけど、ダブっているのは分かったらそれは何ていうか、「だめだよ」っていうことで回収するのか、それとも「次からはだめよね」って今回はあれですけどってふうにするのか、たぶん店からこの書いてもらったカードが上がってくるのが遅かったり早かったりすればその辺でうまくチェックできない部分もあると思うんですが、それは村民の良心にということだと思いますので、ちょっと課長の考えがあったら一言それを聞いて終わります。</p>
	<p>議 長 山崎農林商工課長</p>	<p>山崎農林商工課長。</p> <p>なかなか難しい質問でございますが、一応チェックするのはうちではなくて商工会さんなので、そこはどのようなチェック方法を考えているかあれですが、たぶんそこはだめですという感じに持っていくのかなという、返してもらおうという対策でないかなと思いますが、不確かなのでちょっと回答していいのかあれですが、申し訳ございません。</p>
	<p>議 長</p>	<p>(「終わります」と森田議員)</p> <p>あとはいいですか。</p> <p>(「はい」と森田議員)</p> <p>ほかに、ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
	<p>議 長</p>	<p>なければ質疑を終結いたします。</p> <p>直ちに採決を行います。お諮りいたします。</p> <p>議案第1号「令和3年度普代村一般会計補正予算(第6号)」は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p>議 長</p>	<p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、本案は、原案のとおり可決されました。</p> <p>本臨時会の会議に付された事件は、すべて議了いたしました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年第8回普代村議会臨時会を閉会といたします。</p> <p>ご苦労さまでした。</p>

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 中 村 裕

署名議員 古 沼 和 也

署名議員 中 上 一 登

